4　理科

学校番号	303

平成３１年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂　生物　（東京書籍）						
副教材等	ニューステージ　新生物図表　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

昨年度に引き続き、生物現象について理解を深めます。単にプリントを埋めるだけでなく、毎回の授業で新しいことがひとつは知れたと言えるようにしましょう。身の回りのことも新たな視点で見ることができるはずです。

2　学習の到達目標

生物や生物現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに，生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。生物の生殖や発生について観察，実験などを通して探究し，動物と植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを理解させる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら自然の事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	観察，実験を行い，基本操作を修得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 グループ活動の観察	学習状況の観察 プリントの記述 グループ活動の観察 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 観察･実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生殖と発生	減数分裂と受精		○			a: 減数分裂によって生じる染色体の組み合わせを論理的に理解し，説明することができる。 b: 動物と植物の配偶子形成の仕方に関心をしめすことができる。 c：ウニとカエルの初期発生の過程を観察し、視覚的に把握することが出来る。 d：発生のしくみについて理解することができる。	学習状況 授業プリント 探究活動 観察・実験 定期考査
		配偶子形成と受精	○					
		初期発生の過程			○			
		細胞の分化と形態形成				○		
2学期	生物の環境応答	植物ホルモン				○	a:植物ホルモンのはたらきと名称について知識を得ている。 b:実験の結果を通じて植物の環境への応答について考え、判断することが出来る。 c:目や耳の構造について観察して理解し、知識を得ている。 d：動物の行動について関心を示し、すすんで理解しようとする。	学習状況 授業プリント 探究活動 観察・実験 定期考査
		植物の環境応答		○				
		刺激の受容と反応			○			
		動物の行動	○					
3学期	生物の進化と系統	進化のしくみ		○			a: 進化のしくみについて興味関心をもつことができる。 b:進化の歴史を学習し、どのような事柄が起こったかを理解できる。 c:生物の分類法や系統の整理の仕方の推移について理解が出来る。 d:生物の分類方法を理解し、これまで学習した内容をもとに、分類の判断ができる。	学習状況 授業プリント 探究活動 観察・実験 定期考査
		生物の起源と生物の変遷				○		
		生物の分類の変遷と系統				○		
		生物の系統関係		○				

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。